



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

「神様の縁結び

／試練と会遇の山峰」

民富田智明



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

○粗筋

少女漫画が好きでお姫様願望があり白馬の王子を求めている高校生の春小路清子は、神のお告げを聞き、町の神社で縁結びの祈願をした。すると、白い背広を着た「白馬の王子」と名乗る雰囲気美男子が現れ、清子に声をかけてきた。清子は縁結びの効果と思ったが、王子は清子を拳銃で脅迫して誘拐した。清子は山中で強姦映像「お姫様ごっこ」の被写体として凌辱されそうになった。そこに、たまたま休日の登山を楽しんでいた警備員の人間原堅次郎が現れた。堅次郎は護身用の特殊警棒で王子を殴打し、清子を連れて逃走した。堅次郎は訳も分からないまま狙われる身となったが、清子を救うために王子と対決することをお誓った。堅次郎は、山中で拾った自動小銃と拳銃、短刀を駆使し、王子と死闘を繰り広げ、負傷しつつも倒した。清子は、堅次郎こそが本当の「白馬の王子」と確信し、山の神社で縁結びの成就を果たした。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

○ 登場人物

春小路清子（18）少女漫画が好きでお姫様願望があり白馬の王子様を求める普通の高校生。異性と交際経験はない。清纯派。「白馬の王子」に誘拐され、強姦映像「お姫様ごっこ」の被害に遭い凌辱されそうになる。神様の加護のため、ヒロイン補正がかかりまくる。後に「鬼神童女遊侠伝」でお凜様と同化する。とになる。

入間原堅次郎（39）寺社巡りと山歩きが好き。な元運転手の現警備員。戦闘訓練を受けたことはないし、気も弱い。清子を守るため、ヒロイン補正がかかりまくる。後救うために孤軍奮闘する。神様の加護のため、お凜様の託宣で「特攻戦士神風」になる。

白馬王子（25）清子を誘拐する。白い背広を着て、自動小銃と拳銃と短刀で武装している。闇の世界の芸術家で少女



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

強姦映像「お姫様ごっこ」の制作者。広  
域暴力団「関東脅征会」の末端組織「白  
馬組」の組長。少年愚連隊の持ち上がり  
で、最年少組長。外面は雰囲気美男子を装  
い、内面は醜い。誘拐した「姫」は口封  
じで殺害している。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

○映像紙芝居・郊外の神社・境内

清子（語り）「私、春小路清子。どこにでもいる普通の高校生。何をお祈りしてるっ  
て？縁結び！こう見えてずっと彼氏い  
ません。自然な出会いもなくって悩んでたん  
だけど、夢の中で『お凜様』って可愛い女  
の子の鬼神様が出てきて、近くの神社で祈  
願しなさいってお告げをしたんです。どこ  
かに必ず、運命の赤い糸で結ばれた白馬の

○映像紙芝居・郊外の神社・門前

鳥居越しに、本殿に向かって立っ  
る学生服を着た春小路清子（18）の  
後ろ姿が見える。

字幕 「令和年間。武州入間地方」

○映像紙芝居・郊外の町の遠景

町を貫く入間川の遙か向こうに秩父山  
地の峰々が広がっている。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

王子様がいるはず！ お凜様、この願い、受け取って下さい！」

○ 題字挿入

清子の真剣な表情。

○ 神社の門前の道路

清子が境内から出てきて歩いていく。すると、一台の車が走ってき、横付けして停まる。

車から、白い背広を着た美男子風の白馬王子（25）（35）が出てくる。

優しく微笑む王子。

清子（独白）「わ……」

清子が王子に見惚れる。

王子「お迎えに上がりました、姫！」

清子「え？」

王子「私は白馬の王子。あなたを幸せにするため、お城にお連れします」

清子（独白）「イケメン……。まさか、こ



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

○ 山間の神社・門前  
鳥居越しに、本殿に向かって立っている  
登山装備の入間原堅次郎（39）

○ 山間の町の遠景  
町を貫く名栗川の取り囲むように秩父  
山地の峰々が広がっている。

王子が拳銃を突きつけながら、清子を  
車のトランクに押し込む。そのまま運  
転席に乗り込んで、車を発進させる。

王子「騒いだらどうなるか、わかっています  
ね？」

清子が絶句する。

王子「嫌とは言わせませんよ、姫！」

王子が笑顔のまま拳銃を抜いて清子に  
突きつける。

清子の鼓動が高鳴る。

少女漫画みたい……」

の人が私の？ でも、効き目早すぎ。まる



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

の後ろ姿が見える。

○ 山間の神社・境内

堅次郎が鈴を鳴らして、二礼二拍手して手を合わせて祈願し、一礼して歩いていく。

○ 山の入口

堅次郎が奥深くに一人で歩いていく。

○ 山間の道路

車が走ってきて、路肩に停まる。

王子がカメラバッグを持って降りてきて、トランクを開け、拳銃を突き付けて、ながら清子を降ろす。

王子「お城に着きましたよ。くれぐれも騒がないように。近所には口止めさせてますけどね」

清子は王子に手を引かれて、山中に連れていかれる。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

○ 山中の森・広い平坦地

王子が清子連れてきて、無造作に突き放す。

清子「きゃっ」

清子が草むらに倒れ込む。

王子「姫、俺の城へようこそ！ 緑あふれる楽園で、幸せの最果てまでお連れしましょう！」

王子が上着を脱ぎ、ネクタイ、緩めだす。

清子「な、何する気？」

王子「お姫様ごっこですよ」

王子がシャツのボタンをはずす。

清子「こんなの、絶対違う……」

王子が清子にまたがって屈み、頭に拳銃を突き付ける。

王子「うるせえなあ。死にたくなけりゃ、とつとと股開けや。お？ 姫のくせにそんなこともできねえのか？」

清子「いや……、いや……」



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

王子 「俺は闇の世界の芸術家だ。お前は俺の『お姫様ごっこ』の被写体として選ばれたんだ。世界中の金持ちがお前の晴れ姿を待ち望んでいるんだぞ。お姫様らしく、上品に、可憐に、快樂の絶頂を味わいやがれ」

王子がビデオカメラを起動させて録画し始める。

清子の呼吸が荒くなっている。

王子 「俺のお姫様になれば無事に家まで帰れる。それが嫌なら、ここで鉛玉を食らって熊の餌になる」

清子の呼吸がもっと荒くなっていく。

王子 「答えは一つしかないと思うけどな」

王子が清子のこめかみに拳銃をぐりぐりと押し付ける。

清子 「命だけは、助けてくれるの……？」

王子 「紳士に嘘はありません」

清子は、屈辱で顔を歪ませながら、無



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

言で首を縦に振る。

王子「さすがお姫様だ」

王子が清子に馬乗りになり、十字を切る。

王子「父と子と精霊の御名において、永遠の愛欲を授からん。アーメン」

王子が清子の制服のスカートをほどき、前開きのファスナーを下げていく。

清子「う……う……」

清子の屈辱の表情。

○山中の森・谷沿いの道

堅次郎が写真を撮りながら奥へ奥へと歩いていく。

すると、

清子の声「あ、ああっ、いや、いやあっ」

清子の喘ぎ声が響く。

堅次郎が立ち止まる。

清子の声「ああん、だめ、やめてっ」

堅次郎が周囲を見渡す。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

堅次郎「なんなんだ？ 誰かいちゃついてい  
やがるのか？」  
清子の声「いやああ、やめてえええ！」  
堅次郎が狼狽する。  
堅次郎「いちゃついている感じじゃねえ。まさ  
か……。警察呼んでる場合じゃ。つていう  
か、電波通じねえ……。」「  
堅次郎が護身用の特殊警棒を握りしめ  
る。  
清子の声「ああっ、あっ、ああっ」  
堅次郎が恐る歩いていく。  
○山中の森・広い平坦地  
堅次郎が草むらに身を隠す。  
堅次郎の目に入ったのは、王子に乱暴  
されている清子の姿。  
堅次郎が怒りの表情で、特殊警棒を強  
く握りしめる。  
堅次郎はスチールカメラを構えて犯行  
の証拠写真を撮る。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

王子 「ぐあっ！」

王子が倒れる。

堅次郎が息を荒げて勇ましく立つ。

王子が倒れているうちに、堅次郎が清子に手を差し伸べる。

王子 「はあ、はあ、はあ、はあ……」

王子 「素晴らしい！まるで天使を抱くようない心地にさせてくれる」

王子が十字を切る。

王子 「主よ、姫君の操を奪うことをお許し下さい。アーメン」

王子が清子の下着を脱がそう、する。

清子 「いやっ、いやああっ！」

清子の屈辱の表情。

その時、

堅次郎 「うおおおお！」

堅次郎が飛び出してきた、王子を狙って思い切り特殊警棒を殴りつける。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

王子の瞳に堅次郎の姿が焼きつく。  
清子が堅次郎の手を取り起き上がる。  
王子がもがき苦しんでいる。  
堅次郎が、制服が乱れたままの清子の  
手を引いて逃げていく。  
王子がよろよろと起き上がる。  
王子「うおおお！」  
王子が堅次郎と清子を狙って拳銃を撃  
つ。  
堅次郎「うあああ！」  
清子「きゃあああ！」  
堅次郎と清子が逃げていく。  
○ 山中の森・尾根筋  
堅次郎が清子を持って逃げてくる。  
山壁の陰に身を潜める。  
清子が乱れた制服を直す。  
堅次郎「あいつはなんなんだ！」  
清子「白馬の王子の偽物です！」  
堅次郎「は？」



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

清子 「誘拐されたんです！ 白馬の王子を名乗って！ 少女漫画の美男子の登場みたい

堅次郎 「そんなのに引っかけたのか？ 怪

清子 「だっと思わなかったの？」

堅次郎 「え、、、あ、その、ごめん。」

清子 「うん。『お姫様ごっこ』って、、、強

堅次郎 「君の、体が、狙いなのか？」

堅次郎 「それで、、、肝心なところは、無事

清子 「うん、、、撫で回されたけど、、、」

堅次郎 「俺は軍人でも警官でもねえ。ただの警備員だ。それも交通誘導の。前歴はただ



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

の  
運  
転  
手  
。格  
闘  
技  
を  
習  
っ  
た  
こ  
と  
も  
ね  
え  
。気  
も  
弱  
え  
。昔  
は  
い  
じ  
め  
ら  
れ  
て  
た  
く  
ら  
い  
だ  
。少  
女  
漫  
画  
の  
男  
み  
た  
い  
な  
都  
合  
の  
い  
い  
お  
助  
け  
マ  
ン  
じ  
ゃ  
ね  
え  
ぞ  
：  
：  
」  
堅  
次  
郎  
が  
清  
子  
の  
目  
を  
見  
な  
が  
ら  
、震  
え  
て  
い  
る  
。  
堅  
次  
郎  
「あ  
い  
つ  
は  
必  
ず  
追  
い  
か  
け  
て  
く  
る  
。こ  
ん  
な  
山  
の  
中  
だ  
、誰  
も  
助  
け  
ち  
ゃ  
く  
れ  
ね  
え  
！」  
清  
子  
が  
震  
え  
な  
が  
ら  
、堅  
次  
郎  
の  
「  
を  
見  
て  
、  
手  
を  
握  
る  
。」  
清  
子  
「頼  
れ  
る  
の  
は  
、お  
兄  
さ  
ん  
だ  
け  
：  
：  
」  
堅  
次  
郎  
「や  
る  
っ  
き  
ゃ  
ね  
え  
！」  
堅  
次  
郎  
は  
、清  
子  
を  
連  
れ  
て  
走  
り  
出  
す  
。  
○山  
間  
の  
道  
路  
王  
子  
が  
車  
に  
戻  
っ  
て  
く  
る  
。  
ド  
ア  
を  
開  
け  
て  
、中  
か  
ら  
自  
動  
小  
銃  
と  
手  
榴  
弾  
を  
取  
り  
出  
す  
。  
王  
子  
が  
再  
び  
山  
に  
向  
か  
っ  
て  
い  
く  
。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

○ 山中の森・窪地

堅次郎と清子が歩いてくる。

堅次郎は適当なところで立ち止まり、

リュックの中身を確認する。

ヘルメット、交通誘導棒、懐中電灯、

汗拭きタオル……。

堅次郎「あいつは銃を持ってる。武器になり

そうなものがないと」

堅次郎と清子が周囲を見渡す。

清子「あ、あれ！」

清子が指差す。

そこには、何故か自動小銃と拳銃と短

刀が落ちている。

堅次郎が武器を拾う。何故か赤い染み

がついている。

さらに、朽ちた名刺が落ちているのを

見つける。

堅次郎が名刺を拾う。名刺には「関東

脅征会 白馬組組長 白馬王子」と書



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

○ 山中の森・曲がりくねった上り坂

堅次郎 「あいつを倒す！」

清子の鼓動が高鳴る。

堅次郎が清子を手を連れて走っていく。

動小銃を首にかけ、清子の手を固く握る。

堅次郎は、拳銃と短刀を腰に差し、自

清子 「多くの女の子が、ここで……」

堅次郎 「犯行を知る奴を帰すと思うか？」

清子 「お姫様になれば、家に帰すって……」

りだ……」

堅次郎 「たぶん。俺も君も、ここで消すつもりだ……」

清子 「それ、殺した相手の武器？」

い奴を消すためにも……」

んだ。強姦ビデオだけじゃなく、都合の悪

堅次郎 「落としたんだろう。ここが仕事場な

清子 「なんで名刺が？」

堅次郎 「あいつ、暴力団だ」

かれている。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

王子 「どこで銃を？」

○ 山中の森・曲がりくねった上り坂  
王子が走って銃弾を避ける。

堅次郎が撃ち返す。

○ 山中の森・尾根筋  
堅次郎が伏せて銃弾を避ける。

○ 山中の森・曲がりくねった上り坂  
王子が堅次郎に気づき、銃撃する。

子を狙う。

○ 山中の森・尾根筋  
堅次郎が高台から自動小銃を構えて王子が歩いていく。

しゅうございますぞ」

王子が歩いていく。

れられ、どこにお逃げなさったか？ 寂

王子 「おお、愛しき姫よ、汚らしい下郎に連

王子がゆっくりと歩いてくる。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

○ 山中の森・曲がりくねった上り坂  
王子が道を駆け降りつつ、振り返って

いく。  
堅次郎が清子連れて道を駆け降りて  
持ち替える。  
が、弾切れ。自動小銃を捨てて拳銃に  
堅次郎が追い撃ちをかけようとす

○ 山中の森・尾根筋

道を駆け降りていく。  
堅次郎が連続して撃ってくる。土子が

○ 山中の森・曲がりくねった上り坂

王子が走って銃弾を避ける。

堅次郎が撃ち返す。

○ 山中の森・尾根筋

堅次郎が伏せて銃弾を避ける。

王子が撃ち返す。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

○ 山中の森・沢筋

王子が走ってきて、堅次郎に自動小銃

銃を撃つ。

堅次郎と清子が物陰に避ける。

堅次郎が撃ち返す。

王子が走って逃げる。

堅次郎が撃ち続ける。

王子が走って沢筋の方に逃げる。

堅次郎が拳銃の残弾を確認する。

残り一発。

堅次郎「あいつを追う。君はここで休せてるんだ」

清子「離れないで！」

堅次郎「一緒だとかえって危ない」

堅次郎は、清子に懐中電灯と交通誘導棒を渡す。

堅次郎「いざというとき、これを使うんだ。手加減するな！」

堅次郎が沢筋の方に向かっていく。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

王子「大した勇氣だな。だが、余計なとばっちりで死ぬのは嫌だろ？ 娘を渡せ！」

堅次郎は身動き取れない。

王子が飛び出して堅次郎に拳銃を突き付ける。

構えている。

物陰から王子が堅次郎を狙って拳銃をかがい、歩き回る。

堅次郎が拳銃を構えながら、周囲をうかがい、歩き回る。

堅次郎が走ってくる。

残り一発。

王子が物陰に逃げ、拳銃の残弾を確認する。

堅次郎が物陰に避ける。

王子が拳銃を連射する。

堅次郎が飛び出して突っ走る。

弾切れ。拳銃に持ち替える。

王子が追い撃ちをかけるが、こちらも堅次郎が物陰に避ける。

の連射を浴びせる。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

堅次郎 「断る！」

王子 「なら死ね！」

王子が堅次郎の胴体を撃つ。

堅次郎 「ぐあっ！」

堅次郎が被弾して倒れる。

その拍子に堅次郎の身分証が吹っ飛ん

で落ちる。

○ 山中の森・曲がりくねった上り坂

堅次郎が撃たれる様子を見て、清子が

絶句する。

○ 山中の森・沢筋

王子が堅次郎の身分証を拾う。

王子 「警備員か。底辺じゃねえか」

王子が堅次郎に背を向けて歩き出す。

だが、堅次郎が生きていて、倒れたま

ま拳銃を王子に向ける。

堅次郎が拳銃を撃つ。

王子 「なっ！」



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

王子 「うおおおっ」

堅次郎 と王子が短刀を構える。

堅次郎 が銃を捨てて短刀を抜く。

王子 「町で交通整理してれば死なずに済んだものを」

王子 が銃を捨てて短刀を抜く。

堅次郎 「お前が悪さをしてなきや、こうはなっていないかった」

王子 「なぜ平気なんだ？」

堅次郎 が上着のファスナーを下ろす。

中に防弾チョッキが見える。

堅次郎 「万が一のために着ている……」

○ 山中の森・曲がりくねった上り坂

清子が堅次郎の方に駆け下りいく。

○ 山中の森・沢筋

堅次郎 と王子がにらみ合っている。

王子 「銃弾は王子から外れる。」





短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

王子 「おい、立てよ」

堅次郎 がよろけながら立ち上がる。

堅次郎 が拳を構える。

堅次郎 「うおおおっ」

王子が殴りかかる。

王子が避けて殴り返す。

王子が堅次郎の腹を何度も殴り、顔面に膝を叩き込む。

堅次郎が崩れてもがく。

王子が堅次郎の様子を見ている。

堅次郎が立ち上がろうとする。

王子が堅次郎を蹴り飛ばす。

堅次郎が立ち上がろうとする。

王子が堅次郎を蹴り飛ばす。

堅次郎が倒れて這いつくばる。

王子 「かっこいいぜえ。勇者気取りか」

堅次郎 「勇者でもなんでもねえ！」

王子 「なぜこんなしぶといんだ？」

堅次郎 「必死なだけだ！」

堅次郎が立ち上がろうとする。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

王子が堅次郎を蹴り飛ばす。

堅次郎が倒れる。

王子「お前の勇気を讃えて、名誉の斬首を与えよう」

王子が屈んで堅次郎の首筋に短刀を突き刺そうとする。

その瞬間、

清子「いやあああっ！」

清子が突っ込んできて、懐中電灯を照射し、王子の後頭部に思い切り交通誘導棒を叩きつける。

王子「うぐあっ！」

王子が倒れて突っ伏す。

清子が交通誘導棒を握りしめたまま興奮している。

堅次郎がよろよろ立ち上がる。

王子がよろよろ立ち上がる。

堅次郎「うおおおっ」

堅次郎が王子に拳を何度も叩き込み、何度も膝を叩き込む。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

王子が持ちこたえたところ、堅次郎が蹴り込む。

王子が蹴りを受け止め、蹴り返す。

王子が銀次郎に拳を次々叩き込む。

堅次郎が苦悶する。

王子がすかさず短刀で斬りつける。

堅次郎が転がるように倒れる。

清子「いやあああっ！」

清子が突っ込んできて、懐中電灯を照射し、王子に再び交通誘導棒を叩きつける。

王子「うぐあっ！」

王子が倒れる。

堅次郎が立ち上がり、両手にヘルメットと手旗を握りしめる。

王子が立ち上がる。

堅次郎「うおおお！」

堅次郎が王子に思い切りヘルメットを投げつける。

王子が両手でヘルメットを防ぐ。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

王子 「うぐっ…」

王子が短刀で斬りかかってくる。

汗拭きタオルが王子の首に巻きつく。

き、鞭のように振り回す。

堅次郎が首に巻いた汗拭きタオルを解

王子が短刀で斬りかかってくる。

堅次郎が特殊警棒の持ち手を斬られ

る。特殊警棒が手から落ちる。

王子が短刀で斬りかかってくる。

王子が手旗を振り回す。

堅次郎が特殊警棒で王子の手旗を弾き

飛ばす。

王子が手旗を振り回す。

放つ。

堅次郎がそれを避け、特殊警棒を抜き

王子が手旗で殴りかかる。

王子が倒れずに持ちこたえ、手旗を奪

い取る。

王子が倒れずに持ちこたえ、手旗を奪

すかさず、堅次郎が王子を手旗で叩き

のめす。

王子が倒れずに持ちこたえ、手旗を奪

王子 「うおおお！」



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

堅次郎は、王子の短刀を押しえながらに組みつき、汗拭きタオルを思い切り締め上げる。

王子がしばらくもがいた後、力尽きて動かなくなる。

堅次郎が汗拭きタオルを解くと、王子が倒れる。

堅次郎がよろよろと清子の方に歩み寄る。

清子「お兄さん！」

清子は、堅次郎を抱き留める。

堅次郎「帰ろう……」

堅次郎は、清子を連れて歩き出す。

その時、王子が起き上がり、隠し持っていた手榴弾を取り出す。

王子が手榴弾を投げつける。

手榴弾が飛んでくる。

堅次郎「うわあああっ！」

清子「きゃあああっ！」



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

手榴弾が落ちる。

堅次郎がとっさに拾って、投げ返す。

王子の目が引きつる。

王子「うおおおっ！」

堅次郎と清子が飛ぶように伏せる。手榴弾が爆発し、王子を吹っ飛ばす。

静まると、仰向けの清子に堅次郎が覆い被さるように伏せている。

堅次郎「大丈夫？」

清子「うん……」

堅次郎と清子は、とても、近い。

○映像紙芝居・山間の神社・境内

堅次郎と清子が並んで祈願している。

清子（独白）「悪い奴に誘拐されて、銃でバン撃たれて本当に怖かったけど、なんとか無事に助かりました」

清子が堅次郎の方を見る。

清子（独白）「命懸けで戦ってくれたこの人が、私にとっての本当の白馬の王子様。少



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

女漫画みたいな美男子じゃないけどね」

清子の微笑み。

堅次郎が照れている。

清子（独白）「私も本当のお姫様にならないとね」

清子が堅次郎と固く手をつなぐ。

清子「お兄ちゃん！」

清子は、堅次郎に唇を近づけてい

き……。

清子（独白）「すべては、神様のお導き」

○ 終幕

主題歌挿入「神様の縁結び」。

○ 黒画面

謎の男（声）「白馬の王子が殺られたのだと。

『お姫様ごっこ』は世界中で大人気だ。損

害は大きい。脅征会を敵に回したらどうな

るか教えてやれ。男も女も必ず消せ」

完